

報告

日本の医療を守る道民協議会 第9回総会

常任理事・総務部長 深澤 雅則

9月5日(月)午後7時から北海道医師会館8階会議室で、35団体の26団体、総数62名の出席により「日本の医療を守る道民協議会第9回総会」を開催した。

最初に、深澤道民協議会理事の司会で開会。冒頭、長瀬協議会会長は、当初3月18日に開催予定した本協議会は、同月11日発生した東日本大震災への各団体の災害対応を踏まえて中止したことのお詫びを含めた挨拶を行った。

議事では、一部団体役員所属長の異動に伴う5名の役員の変更を説明し了承された。

また、「社会保障と税の一体改革の問題点について」の議題では、北海道医師会・直江常任理事と北海道歯科医師会・龍方常務理事から趣旨説明の後、直江常任理事より本協議会総会の名において決議文を作成したいと提案し、協議の結果、一部修正の意見を踏まえた決議文を採択した。



決 議

3月11日に発生した東日本大震災は、未曾有の大惨事となり多くの尊い命が奪われ、今なお多数の方が困難な生活を余儀なくされている。お亡くなりになった方々のご冥福をお祈りし、被災者の方々に心よりお見舞いを申し上げます。

震災後、あらゆる対策を速やかに講ずべきであるにもかかわらず政局は自ら混迷を招き、復興は牛歩の如くである。

菅首相に代わり、新たに誕生した野田政権には、全力を挙げて国難の克服に邁進されることを期待したい。

去る6月30日、当時の政府・与党社会保障改革検討本部は「社会保障・税一体改革案」を決定し、翌7月1日、閣議報告としたが、この案は国民の医療を守る上で多くの問題を含んでいる。

我々は、安心して健康な生活を送ることが出来るよう、下記を決議する。

記

- 一、国民にとって真のセーフティネットとなる社会保障制度の確立
- 一、世界に冠たる国民皆保険制度の堅持
- 一、患者自己負担の軽減
- 一、受診抑制を招き病状悪化をもたらす受診時定額負担の導入に断固反対

平成23年9月5日

日本の医療を守る道民協議会第9回総会